

## 施策評価調書(4年度実績)

				施策コード	Ⅲ-2-(1)		
政策体系	施策名	芸術文化の創造	所管部局名	企画振興部		長期総合計画頁	137
	政策名	芸術文化による創造県おいたの推進	関係部局名	企画振興部、教育庁			

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	多彩で優れた芸術文化に触れる機会の提供	県立美術館における鑑賞・創作機会の提供	県民参加による芸術文化活動の推進と芸術文化を創造し支える人づくり	次代の芸術文化の担い手づくり

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標		関連する取組No.	基準値		4年度			6年度	目標達成度(%)				
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125
i	県立美術館入場者数(万人)	①② ③④	H26	—	50	52	104.0%	50					

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	達成	県立美術館では、企画展として「ポケモン化石博物館」や「大本山 相国寺と金閣・銀閣の名宝」など、多様なジャンルに挑戦する企画展と集客力のある企画展をバランスよく実施することにより、目標を達成することができた。	達成

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・3年ぶりの開催となったアルゲリッチ音楽祭は、全8公演で延べ5,209人が参加するなど世界最高峰のクラシック音楽の鑑賞機会を提供した。 ・大分アジア彫刻展では大分市で表彰式、豊後大野市で開会式を実施し、2,054人が来場した。また、東アジア文化都市2022大分県のコア事業として中国の温州市と韓国の慶州市で紹介展を開催し、33,551人が作品を鑑賞した。
②	・県内13市町村の24校が、県立美術館における鑑賞授業を実施し、小学生800人が参加した。
③	・東アジア文化都市2022大分県では県民総参加のテーマの下、県内各地で様々な公演やイベントが開催された。コア事業では、別府市において交流都市である中国の温州市と韓国の慶州市からアーティストを招聘し、ワークショップを通じた地域交流に取り組んだ。また、竹田市で各国の伝統音楽が一体となった日中韓コラボライブをDRUM TAOが行なうなど、県内の芸術文化団体による活動も活発に行われ、計158事業に約54万人が参加した。
④	・県内高校生による絵画作品の展示を大分市内中心部商店街(ギャラリー竹町、セントポルタ中央町)、さいき城山桜ホール、アストくにさき、大分県立美術館で開催し、子どもたちの発表機会とともに、多くの方が気軽に芸術に触れる機会を創出した。(のべ58校から124点を出展)

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(4年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①③	東アジア文化都市2022大分県開催事業	180.6	336
①	国際芸術文化振興事業	104.2	336
②	芸術文化ゾーン拠点創出事業	104.3	340
③	芸術文化による地域おこし事業	146.1	341
④	みんなで作る文化活動推進事業	116.7	337

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

OR4年第3回定例会(R4.9)

・東アジア文化都市2022大分県を1つの契機として中韓文化都市との交流を深め、本県のさらなる発展につなげたい。

OR4年第4回定例会(R4.12)

・東アジア文化都市2022大分県での取り組みを一過性のものにならないことが重要。

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立美術館では、入場者数の目標達成に向けて、多様なジャンルに挑戦する企画展と集客力のある企画展をバランスよく実施する。</li> <li>・観光客が県立美術館と地域を循環する仕組みを構築するとともに、竹工芸等本県が誇るコンテンツを国内外に発信することでカルチャーツーリズムを推進する。</li> <li>・別府アルゲリッチ音楽祭や大分アジア彫刻展など世界レベルの芸術文化に触れる機会を提供するとともに、混浴温泉世界など地域における特色ある芸術文化活動を支援し、芸術文化をいかした地域づくりを推進する。</li> <li>・芸術文化活動を発表する場づくりや児童生徒に対する芸術文化の鑑賞・体験機会の充実など、次代の芸術文化の担い手づくりを進める。</li> <li>・東アジア文化都市2022大分県の成果をいかし、芸術文化団体による中国、韓国との草の根交流を推進するとともに、芸術文化と経済活動・産業とを橋渡しできる人材を育成し、芸術活動を社会に広げていく。</li> <li>・県立美術館において、子どもたちの主体的な鑑賞の機会の充実を図るとともに、教員の指導力向上に向けて本物の作品を使ったガイド実践を行う。また、事後実践の好事例をHPで発信する。</li> <li>・シンボルアート制作や県内学生による芸術作品展示を行い、障がいの有無に関わらない発表機会の創出や芸術文化への関心を高める取り組みを進める。</li> <li>・文化活動を通じた特別支援学校と高校の交流や県内の児童・生徒による芸術作品展示を行い、障がいの有無に関わらない発表機会の創出や芸術文化への関心を高める取り組みを進める。</li> </ul>